

## 切替マス (縦型)

## ESC-T 100-200

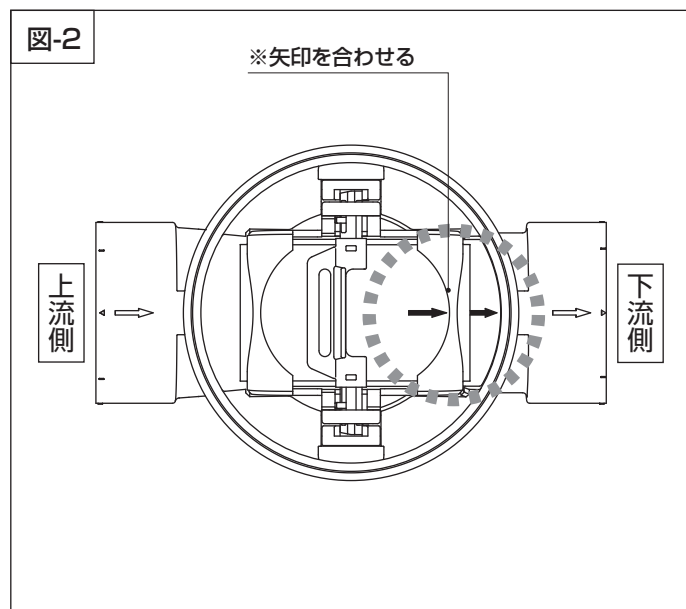
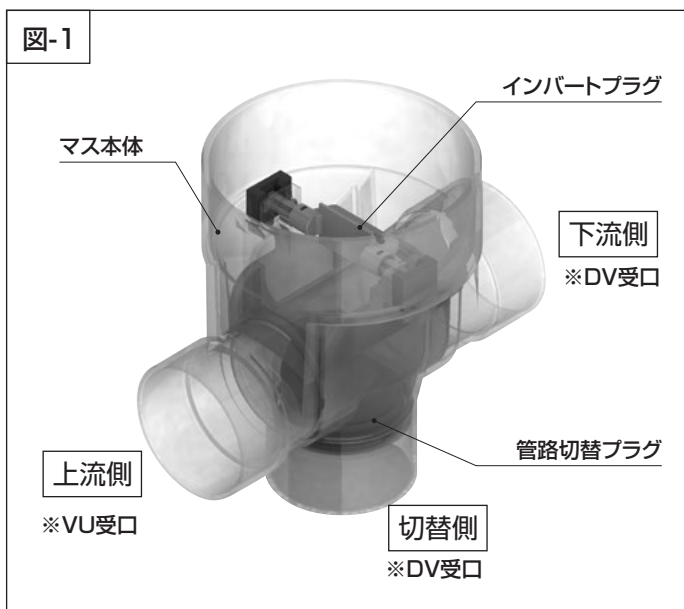
- 施工前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- 施工後は必ずこの取扱説明書を管理者様にお渡し願います。

### 施工

施工者様向け

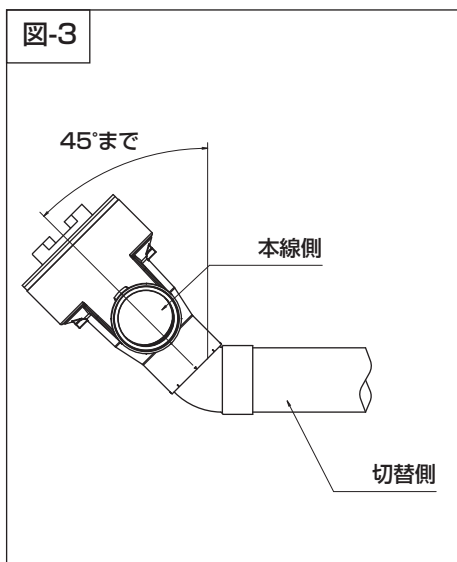
#### 配管

本製品には製品構造上、上下流があります。製品管路受口の矢印を流れ方向に合わせて設置してください(図-1)。VU管・VP管どちらにおいても、変換継手を使用せず配管可能です。また、インバートプラグにも方向性があります。矢印をご確認の上、設置願います(図-2)。マスの天端で水平をとることで、規定の勾配(2/100)となります。



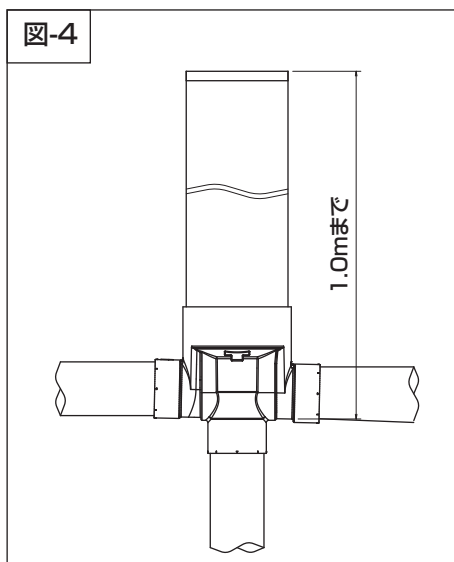
#### 設置角度

ピット内配管においては、**45°**までの範囲内で傾けての設置も可能です(図-3)。



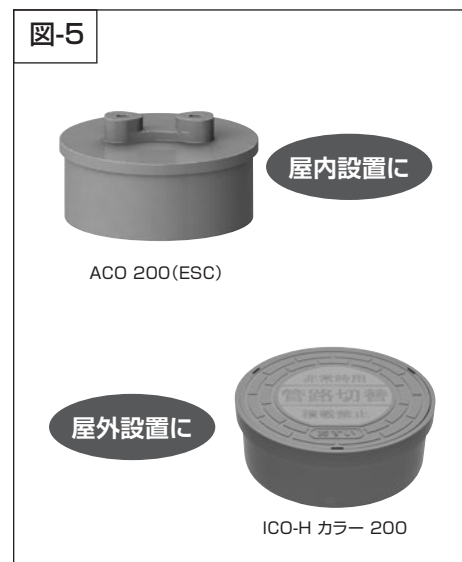
#### 設置深さ

切り替え操作を考慮し、設置深さは**1.0m**までとしてください(図-4)。



#### 専用ふた

ふたは専用の製品をご使用ください(図-5)。



1 「インバートプラグ」を引き抜きます



2 「管路切替プラグ」を付け替えます

通常時→非常時

管路切替プラグを切替側より取り外し、流出側に取り付ける。

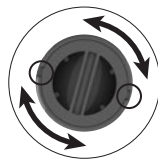


非常時→通常時

管路切替プラグを流出側より取り外し、切替側に取り付ける。

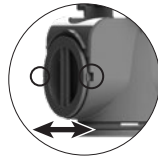


3 「インバートプラグ」を元に戻します



【切替側】

取り付け: 管路切替プラグを回転させ、所定の切欠き溝部に凸部を合わせて引き抜きます。  
取り外し: 管路切替プラグの凸部を所定の切欠き溝部に押し込み、止まるまで回転させます。



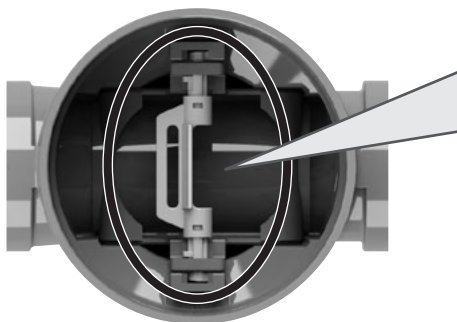
【流出側】

取り付け: 管路切替プラグの凸部とインバートプラグの凹部との位置を合わせて押し込みます。  
取り外し: 管路切替プラグをインバートプラグより引き抜きます。

※手が届かない場合は「切替マス」用プラグフックをご使用ください。

「切替マス」用プラグフック

■「インバートプラグ」の挿入確認方法



挿入 OK!



取手が倒れている (持ち手が管路に平行)

挿入 NG



取手が倒れていない (持ち手が管路に垂直)



注意事項

◆設計上のご注意

- ・設計流量は半管までとしてください。
- ・ふたは専用の製品をご使用ください。

◆輸送・保管上のご注意

- ・高所からの落下、放り投げなどによる過度の衝撃を加えないでください。
- ・屋内で保管してください。やむをえず屋外に保管する場合は、直射日光を避け、熱気のももらない方法によって保管を行ってください。

◆施工上のご注意

- ・管路受口の矢印を流れ方向に合わせて設置してください。
- ・ビット内配管において「切替マス」を傾けて設置する場合は、45°までとしてください。
- ・設置後は「インバートプラグ」が必ず奥まで挿入されていることを確認してください。
- ・ふたの上部には「インバートプラグ」が取り外せるスペースを確保してください。
- ・切り替え操作を考慮し、設置深さは1mまでとしてください。
- ・接着剤は、必ず清掃した管と受口の両面に薄く均一に塗布し、塗布後は速やかに接合してください。接合は規定の時間挿入力を保持し、接合後は、はみ出した接着剤をふき取ってください。
- ・アセトン、シンナー、クレンジング剤、殺虫剤、白あり駆除剤など材質に悪影響を及ぼす物質を吹き付けたり、塗ったりしないでください。

◆使用上のご注意

- ・管路を切り替える際は、取扱説明書をご確認の上実施してください。
- ・「インバートプラグ」の挿抜がしにくくなった場合は、市販のシリコングリスをゴム輪表面に塗布してください。
- ・設置深さが深く手が届かない場合は、「切替マス」用プラグフックをご用意ください。
- ・管路切り替え後は「インバートプラグ」が必ず奥まで挿入されていることを確認してください。

